

工事店さまへのお願い

施工手順に関しては、システムバスルームに同梱の組立要領書を参照してください。

TOTO

サーモスタットシャワー金具

TMHG40L型 R型
TMJ40L型 R型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

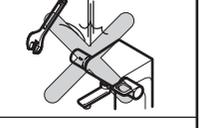
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
 禁止	<p>湯水を逆に配管しない</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
 禁止	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しない</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない</p> <p>破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 必ず実行	<p>目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う</p> <p>使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p> 

警告	
 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を閉めてから行う また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する</p> <p>高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 禁止	<p>寒冷地用</p> <p>水抜コックは水抜き以外の目的で開けない</p> <p>水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 必ず実行	<p>クリックタイプ</p> <p>必ず調圧弁を取り付ける</p> <p>調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う</p> <p>部品が破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>  

2 仕様

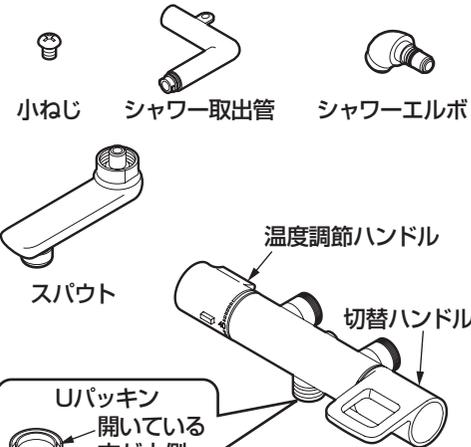
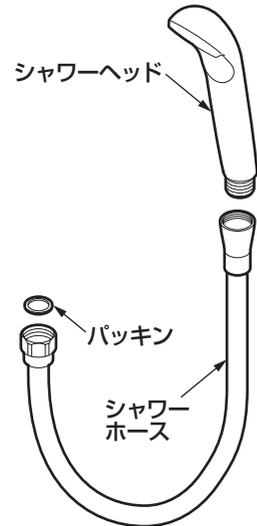
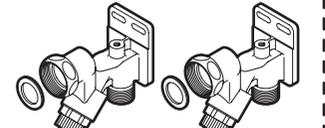
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動時) (クリックタイプ・ワンダービート・エアインの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	-20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。
快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

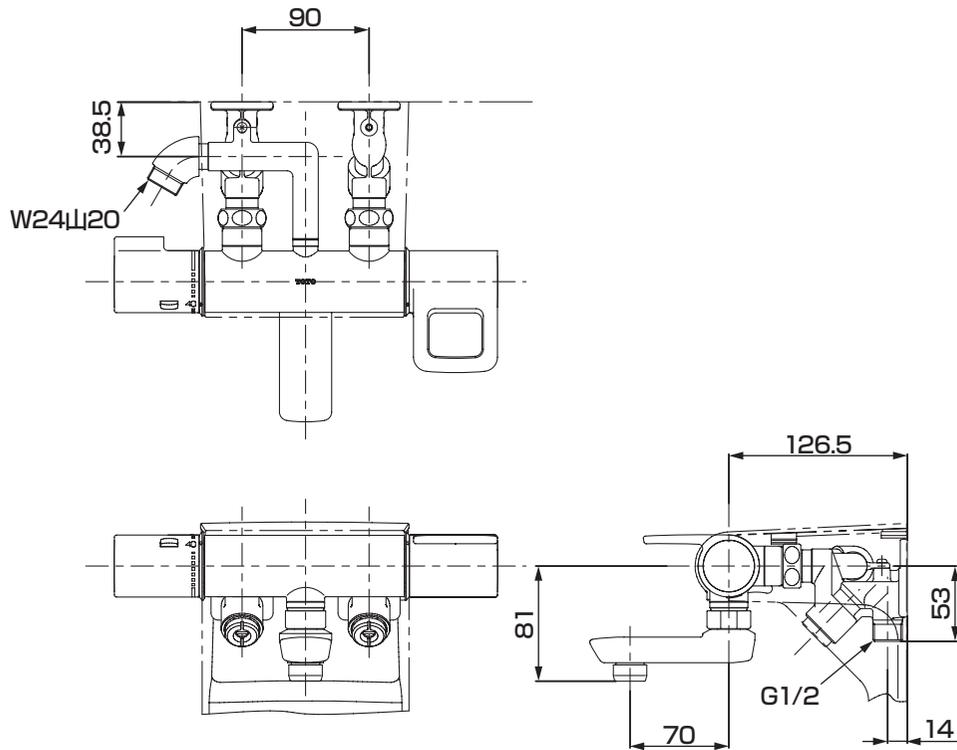
水栓本体部	シャワー部 (別梱包)
 <p>小ねじ シャワー取出管 シャワーエルボ</p> <p>スパウト 温度調節ハンドル 切替ハンドル</p> <p>Uパッキン 開いている方が上側 (本体に入っています)</p>	 <p>シャワーヘッド</p> <p>シャワーホース</p> <p>パッキン</p>
取付脚部	その他
<p>一般地用</p>  <p>取付脚 (パッキン付き 2個)</p> <p>寒冷地用</p>  <p>取付脚 (パッキン付き 2個)</p>	<p>施工説明書</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>取扱説明書</p> <p>使いかたラベル</p> <p>開閉工具 (一般地用のみ)</p>

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

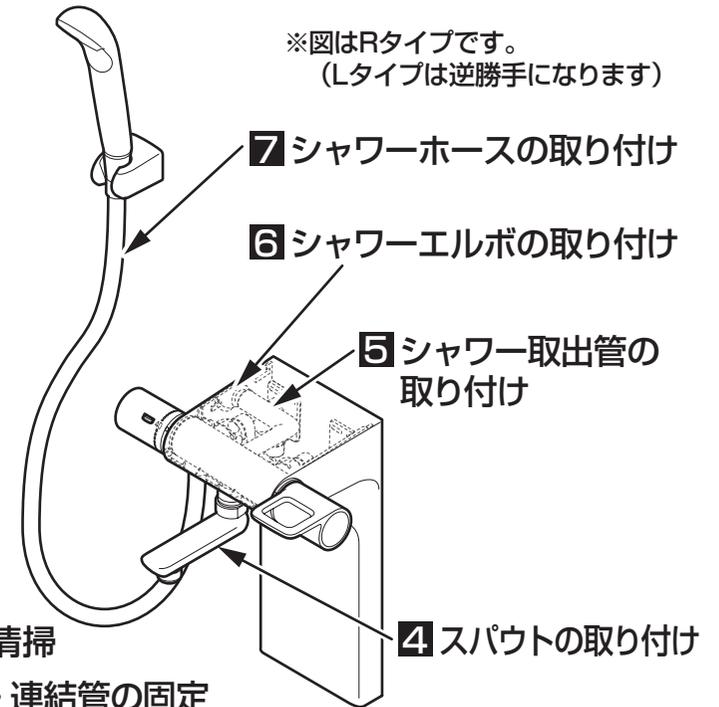
(単位：mm)



※図はRタイプです。
(Lタイプは逆勝手になります)

6-1 施工手順

※図はRタイプです。
(Lタイプは逆勝手になります)



- 1 取り付け前に
給水・給湯管内の清掃
- 2 止水栓・本体部・連結管の固定
- 3 カバー・カウンターの取り付け

1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
 - ②温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。



2 止水栓・本体部・連結管の固定

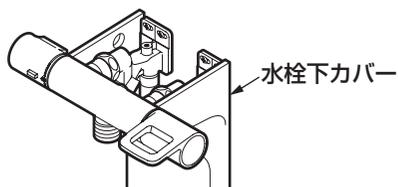
止水栓・本体部・連結管の施工手順については別途 [システムバスルーム組立要領書] を参照のうえ、取り付けてください。

3 カバー・カウンターの取り付け

カバー・カウンターの施工手順については別途 [システムバスルーム組立要領書] を参照のうえ、取り付けてください。

注意

スパウトは、水栓本体の取り付けがすべて完了したあと(水栓下カバー取り付け後)に接続してください。先にスパウトを付けると、水栓下カバーの取り付けができません。



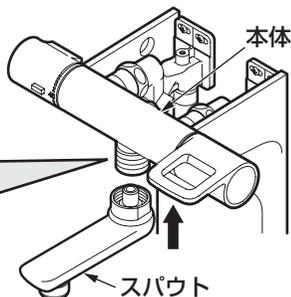
4 スパウトの取り付け

- ① Uパッキンが**本体側**に正しく入っていることを確認してください。

注意

Uパッキンの向きに注意してください。Uパッキンは開いている方が上側です。

上側



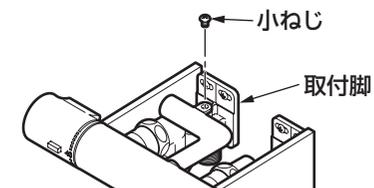
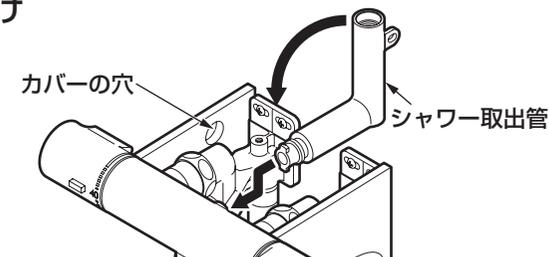
- ② スパウトを水栓本体に取り付ける。

注意

Uパッキンは**必ず本体側**に取り付けた状態で、スパウトを取り付けてください。Uパッキンをスパウト側に取り付けた状態でスパウトを取り付けるとパッキンが正しく取り付けず、水漏れの原因となります。

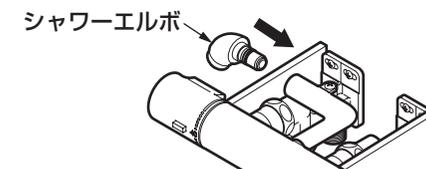
5 シャワー取出管の取り付け

- ① シャワー取出管を縦にして奥まで差し込む。
- ② シャワー取出管をカバーの穴がある方向に90°回す。
- ③ 小ねじ(同梱品)で取付脚に固定する。



6 シャワーエルボの取り付け

シャワーエルボを取り付け、シャワーエルボが締まらなくなったところから1周半以内の範囲でシャワーエルボが下を向く位置まで戻し、シャワーエルボが180°可動するように調整する。

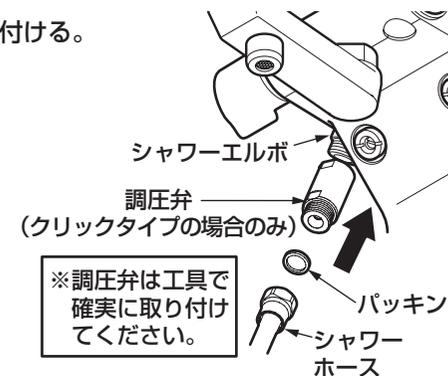


7 シャワーホースの取り付け

シャワーホースをシャワーエルボに取り付ける。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- クリックタイプの場合は、必ず調圧弁を取り付けてください。調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



※調圧弁は工具で確実に取り付けてください。

裏面へつづく

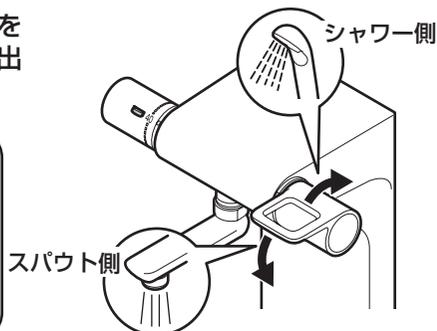
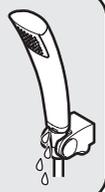
施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

注意

エアインシャワーの場合、シャワーを止めたあと、一般シャワーヘッドとは異なり、シャワーヘッド根元にある吸気口より水が排出されます。故障ではありません。



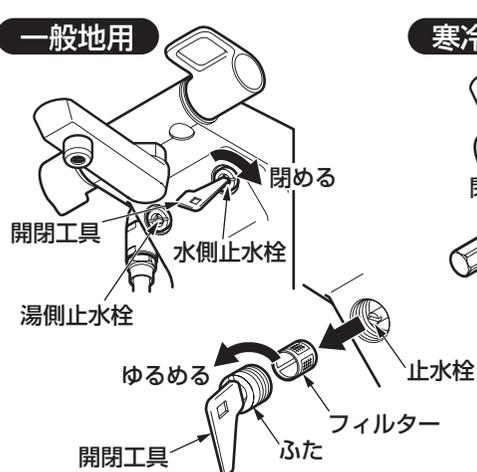
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

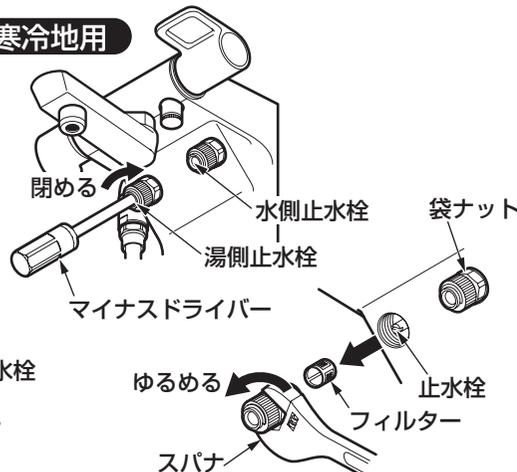
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、フィルターを外してください。また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

一般地用



寒冷地用



3. 流量の調節

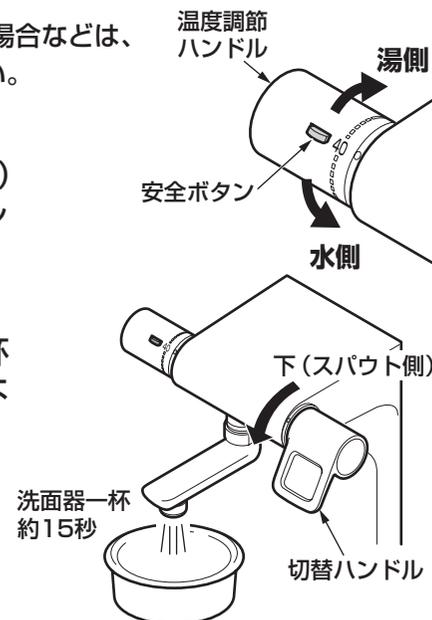
切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下（水側）いっぱい回し、切替ハンドルを下いっぱい回す。

スパウトから水が出ます。

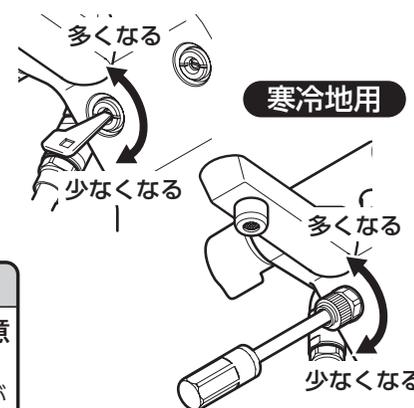
2. 流量が15L/分程度（洗面器一杯にするのに約15秒弱）になるように水側止水栓で調節する。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上（湯側）いっぱい回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

一般地用



警告



必ず実行

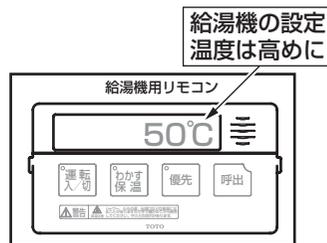
湯側の調節を行うときは十分に注意する
熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

4.吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。



2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をポイントまたはラインにあわせる。



3. 切替ハンドルを上いっぱいに戻す。

シャワーから水が出ます。

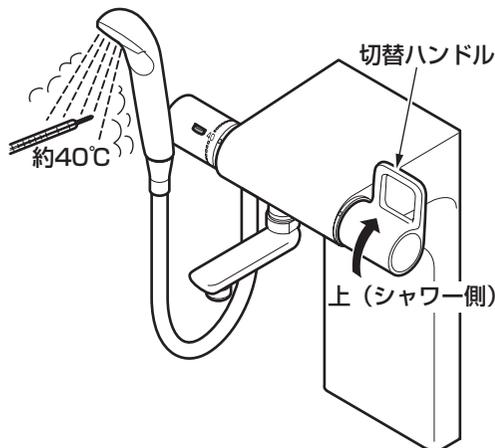
4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。

温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。

やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。

給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



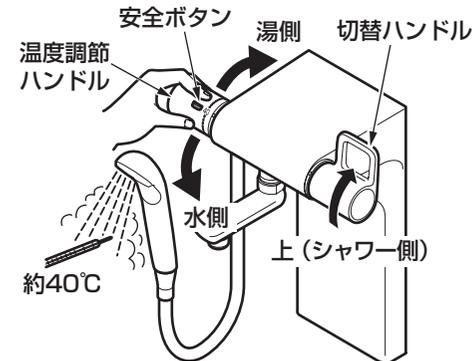
5.温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

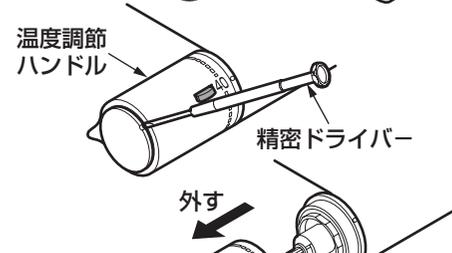
1. 切替ハンドルを上いっぱいに戻す。

シャワーから水が出ます。



2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



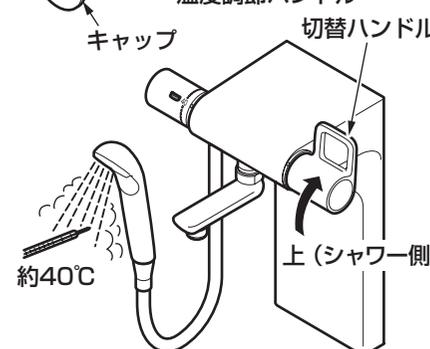
3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。



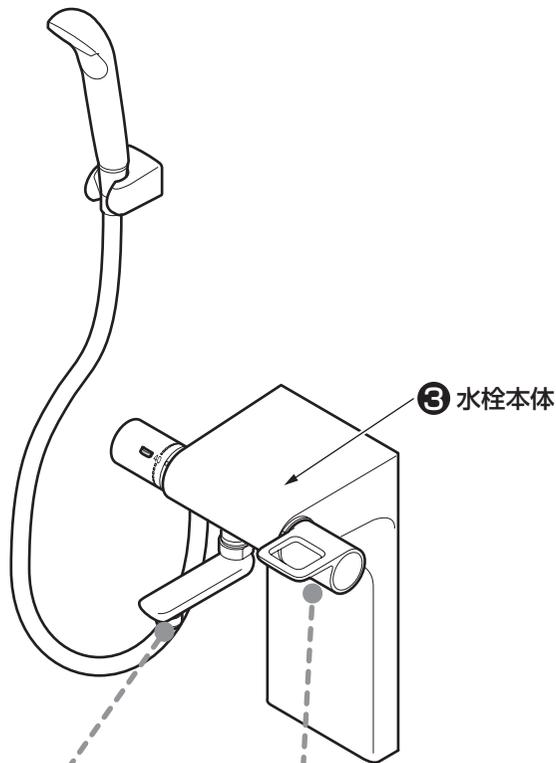
4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とポイントをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

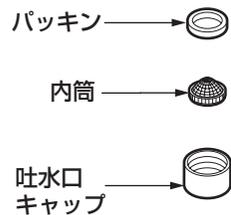


5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。

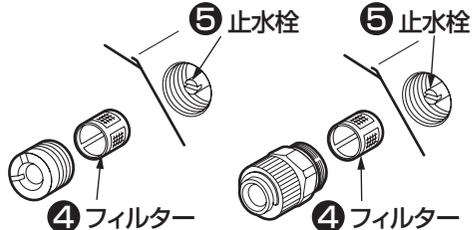
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



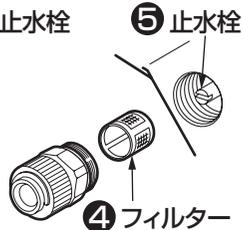
4 吐水口



一般地用



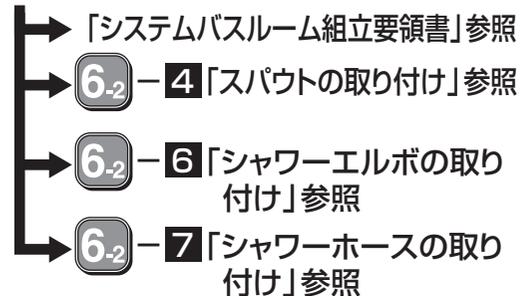
寒冷地用



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

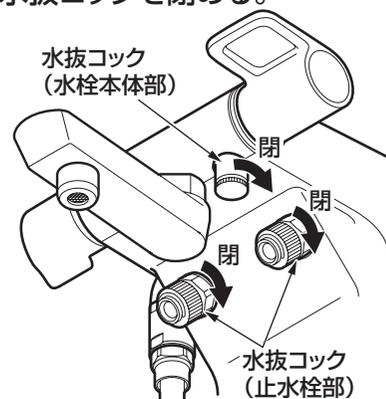
- ① 各配管の接続部はしっかり接続されていますか？



寒冷地用の場合

- ② 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

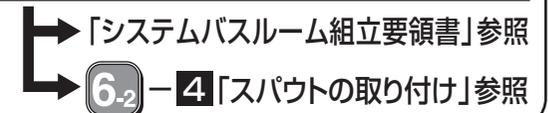
↳ 水抜コックを閉める。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ③ 水栓本体の締付ナットおよびねじは確実に締め付けていますか？



流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ④ 吐水口・フィルターのごみ詰まりはないですか？



- ⑤ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



- ⑥ 吐水温度が表示どおりになっていますか？

↳ 7.2-4 吐水温度の確認 参照

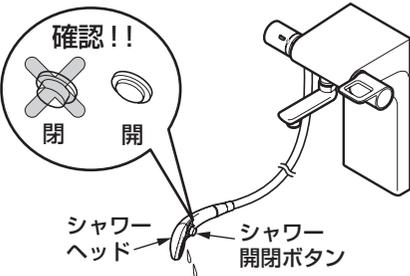
寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

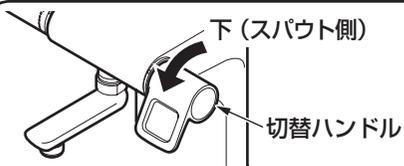
重要

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

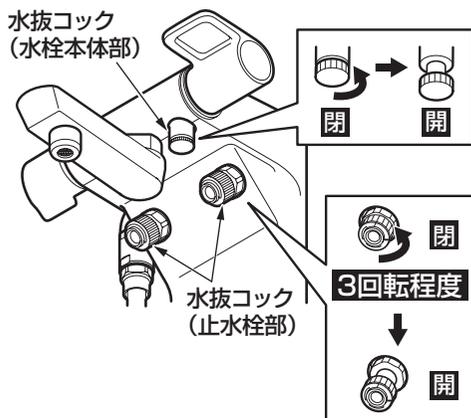


1. クリックタイプの場合は、シャワー開閉ボタンが"開"の状態になっていることを確認する。

2. シャワーヘッドを床近くに置く。



3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

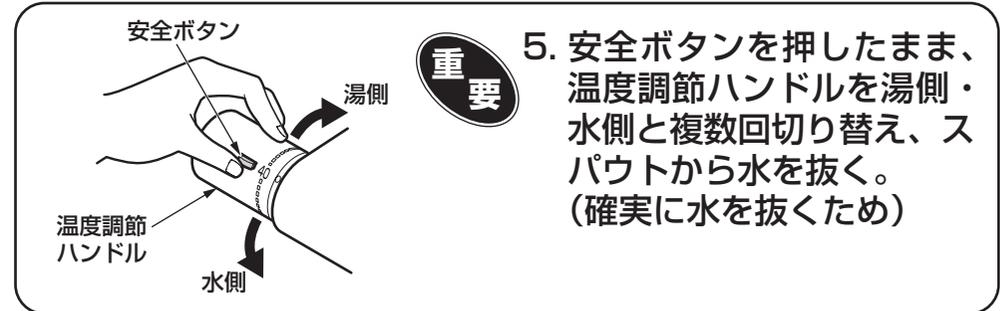


4. 水抜コックをすべて開ける。(空気を取り入れ、水を抜くやすくします)

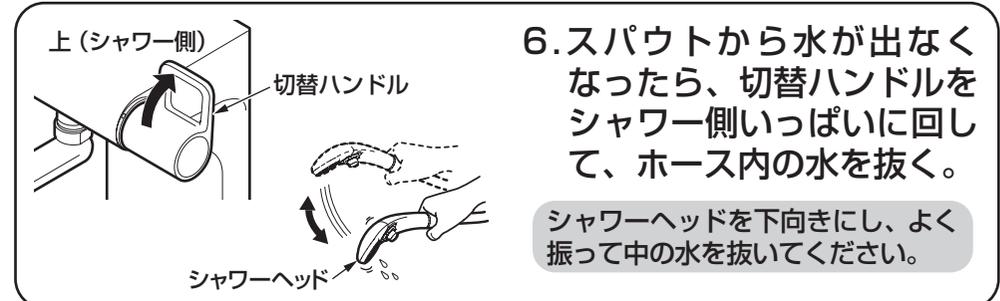
水抜コック(水栓本体部)：1カ所
水抜コック(止水栓部)：2カ所

注意

止水栓部の水抜コックは取り外さないでください。

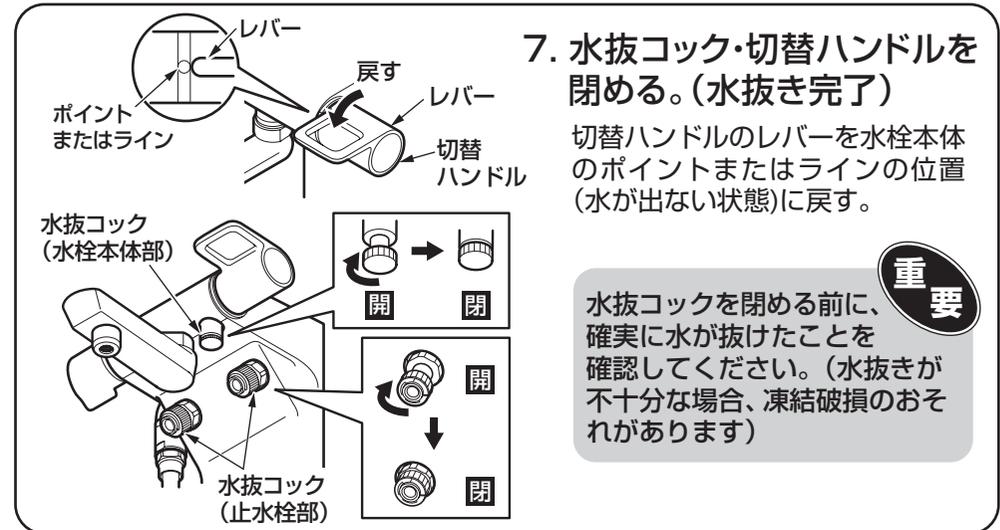


5. 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側・水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。(確実に水を抜くため)



6. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルをシャワー側いっぱい回して、ホース内の水を抜く。

シャワーヘッドを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



7. 水抜コック・切替ハンドルを閉める。(水抜き完了)

切替ハンドルのレバーを水栓本体のポイントまたはラインの位置(水が出ない状態)に戻す。

水抜コックを閉める前に、確実に水が抜けたことを確認してください。(水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります)

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。